

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

報告日 令和7年11月26日

P T A名		静岡県立東部特別支援学校 伊東分校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱	
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	41人	

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年 児童26人
使用頻度	週3日程度
使用状況	晴天時の昼休み、小学部1～6年の児童10人程が使用 伊東小学校との交流活動(伊東小児童来校時)で使用 生活単元学習授業で使用(不定期)
物品の使用による 変化や効果	寄贈していただいた複合遊具を設置した場所を、『プレイランド』と名づけ、子ども達にとって生き生きと活動できる楽しい場所となっています。昼休みに、複合遊具で遊ぶことを心待ちにしている児童の姿が見られるようになりました。段差のあるステップを渡る、梯子を登るなどの日常ではできない動きを遊びのなかですること、子ども達の体の使い方が上達しました。
今後の活用の 見通しや課題	遊び用具が加わったことにより、屋外へ出て活動できる機会が増えました。安全に使用するために、「順番」や「待つ」といったマナーやルールを職員間で適時確認を行っていきたいと思います。
その他 希望や所感など	遊びのなかで、初めはできなかったことができるようになっていく子ども達の姿をたくさん見ることができました。遠近感や平衡感覚等の感覚、握力や腕力等の筋力が自然に身についてきているのを感じます。

2. 活用の様子



手の位置、足の位置を確認しながら進みます。遠近感が身につきます。

足元をよく見て渡ります。
平衡感覚や腕の力も鍛えられます。



最後は、滑り台です。
にこにこ笑顔で、滑っています。